

補助金調書

補助金名	公共交通バリアフリー化促進事業(バス)		担当課 (連絡先)	住宅都市局都市計画部交通計画課 (TEL 092-711-4393)	
交付先	<input type="checkbox"/> 団体	【交通事業者】	区分	その他の補助金	
交付先決定方法	<input type="checkbox"/> 公募	(公募の場合) 公募時期	随時		
(公募の場合) 応募要件	補助目的を達成し得る団体				
(非公募の場合) 非公募の理由					
補助開始年度	平成 18	年度	経過年数	14	年度
補助金の目的 及び 補助対象事業	<p>【補助金の目的】 高齢者や障がいのある人をはじめ全てのバス利用者が、安全且つ円滑に公共交通を利用することを目的として、ノンステップバスの導入並びにバスターミナル施設における低位型自動券売機の導入について一部公費による支援を行うもの。</p> <p>【補助対象事業】 公共交通バリアフリー化促進事業</p>				
補助金の終期	令和 2	年度	延長回数	1	回
終期を延長する理由	国の計画より、令和2年度末までにバス車両全体の約70%をノンステップとするとしており、福岡市バリアフリー基本計画においても、その導入促進に取り組むこととしているが、平成28年度時点においては導入率は約29.4%(見込み)にとどまっており、目的については未達成となっていることから、本補助制度については、引き続き継続する必要があるもの。				
交付対象経費及び補助金の算定方法等	<input type="checkbox"/> その他	<p>【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】 〈ノンステップバス〉 以下の算定方法について、最も低い額以内を補助金額とする。 (1) 補助対象経費に4分の1を乗じて得た金額 (2) 補助対象経費と通常車両価格との差額に2分の1を乗じて得た額 (3) 補助対象となる車両台数に140万円を乗じて得た額</p>			
(間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配 分基準、審査基準	【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】				
交付状況等 【上段:交付件数】 【下段:決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度	
	件	63 件	60 件	87 件	
	31900 千円	28910 千円	29566 千円	38635 千円	
前年度補助事業 の主な実施概要	ノンステップバスの導入促進に対する補助(導入台数63台)				
補助金交付 による効果	<p>全ての人々が利用しやすい安全で快適な交通環境の創出に向け、バス交通のバリアフリー化の促進に寄与している。</p> <p>【参考】 国の「移動円滑化の促進に関する基本方針」において、令和2年度までに乗合バス車両の約70%をノンステップバスに整備する目標が掲げられている。</p>				

※1:金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。